

巻 頭 言

紀要は大学の活動を学内外に示す重要な手段となっています。本紀要の創刊以来、編集委員会を中心として様々な工夫を加えながら、記念すべき第10巻の刊行に至りました。

本学は、工学教育を行う高知県唯一の大学として16年余り前に設立されました。以来、教育研究、組織、財務を始めとして大学運営のあらゆる場面において、旧来の慣習に縛られることなく、自由で合理的な精神に基づいて、自らの道を考え、実行してきました。特に本学では、人が育つ大学教育を行うという方針を掲げ、クォーター制のカリキュラム、GPA制度、学生による授業評価、特待生制度、スタディスキルズ教育、キャリアサポートなどを含めて、学生が大きく飛躍するための有機的でユニークな教育システムを創り上げてきました。今やこのシステムから着実に人材が育っています。

紀要で取り扱う教育研究活動の中で、このような他大学には見られない教育方法の紹介も、研究成果の紹介と共にこれまでにたびたび取り上げられてきました。他大学と同様、本学の教育システムの内容は他項目にわたり、また年々改良・進歩するものですから、1巻の紀要では紹介しきれません。継続的にご覧いただくことにより、本学の活動をお知りいただければ、編集委員を始めこの上ない喜びとなります。

さて、世界の中で大学も大きく変化しつつあります。大学の国際化は言うに及ばず、持続可能な社会づくりの中で大学が果たす役割には大きなものがあります。本学もそのような社会的使命を果たすべく努力を続けるとともに、その情報を広く社会に発信すべく紀要のあり方も考え続けなければなりません。社会情勢を勘案しつつ、より良い内容と方法を模索してまいりますので、皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。

副学長 磯部 雅彦